

流行性角結膜炎発症時の注意点

- 潜伏期間は7～14日、眼の異物感、流涙・眼脂で急に発症します。
- 発症3日前から治癒までの約2週間、涙や眼脂で汚染された手指、タオル類などを介して人にうつります。
- 手で眼をこすらないようにしましょう。
- 点眼前後には手洗いをおこない、点眼時は容器にまつげが触れないようにしましょう。
- 適宜、手洗い・手指アルコール消毒をおこないましょう。
- よく触れるドアノブ等は、適宜アルコールで拭き取り消毒しましょう。
- タオルや洗面具の共有は控え、ペーパータオルを使うとよいでしょう。
- 眼脂や涙はティッシュペーパーなどで拭き取り、ビニール袋に入れて密封しましょう。
- 共同のお風呂・シャワーを使う場合、順番を最後にしましょう。
- お風呂の残り湯での洗濯は控え、使用後は、通常の清掃をしましょう。
- 食器類の消毒は不要です。
- 涙などのついた洗濯物は、お湯での洗濯（56℃以上5分間以上）、または、塩素系漂白剤に30分浸漬したあと通常の洗濯をおこないましょう。
- 感染力があるうちは、他人（特に乳幼児）との接触は控えましょう。

